

## 令和4年度第1回大阪府がん対策推進委員会（概要）

1. 日 時：令和5年3月23日（木）15時00分～16時30分
2. 場 所：大阪国際がんセンター6階 中会議室1
3. 議 事：
  - (1) 大阪府がん対策推進委員会 各部会の活動状況について
  - (2) 第3期大阪府がん対策推進計画PDCA進捗管理票について
  - (3) その他

### 4. 委員からの意見要旨

- (1) 大阪府がん対策推進委員会 各部会の活動状況について

#### 【意見要旨】

##### ○がん検診部会

- ・肺癌学会によって肺がんの読影講習会の受講や症例検討会への参加が推奨されているが、医師会や各施設での実施は難しいところがあるため、大阪府としても進めてほしい。
- ・20代になる前からがんについてのリテラシーを向上させていくことや、他の都道府県が実施している制度を導入すること等によって、大阪府のがん検診受診率、2次検診の導入率向上につなげてほしい。
- ・がん検診受診率向上においては、住居地の市以外でも受けられる体制整備、受付時間の拡大、託児所の併設、費用の無料化等も要因として考えられる。
- ・精密検査を住居地の市町村以外で受けた時に、住居地の市町村がその情報を得られるしくみがないときいたので、そのしくみ作りを大阪府に担ってほしい。

##### ○がん診療連携検討部会

- ・肺がんについては、手術、放射線治療、薬物療法のいずれかを自院で実施していれば集学的治療を提供できているものとみなすというのは、違和感があるため、書き方を工夫した方が良い。

##### ○小児・AYA世代のがん対策部会

- ・次期がん対策推進基本計画にも文言として盛り込まれると思うが、若い人の二次がんや晩期合併症の対応を意識してほしい。

- (2) 大阪府がん対策推進計画 中間点検報告書について

#### 【意見要旨】

- 肝がん・重度肝硬変治療促進事業の対象となる人が限られているのではないか。助成対象となる入院日数を短くするなど、現状にあわせて対象を拡大していくべきだと思う。
- がんゲノム医療について、治験が行われているのがほとんど関東なので、関西でも治験をもってこられる体制整備が必要だと思う。
- 新型コロナウイルスの影響で、活動が停止してしまった自助グループがある中で、がん相談支援センターが自助グループの運営等についてどのように連携をしていくかが課題だと思う。
- 医療が必要な在宅を希望する患者のニーズが高まる一方、それに応える訪問看護ステーション等の在宅医療を提供する機関の人員等の体制が整備されておらず、またACPに関しても、病院と在宅医療機関との連携もまだまだ課題だと感じている。
- 保険薬局で抗がん剤を扱うところも増えており、副作用の対応等で病院と薬局との連携もさらにすすめていくべきだが、外来化学療法患者数に比べると、まだまだ薬局への相談は少ないと感じている。

#### 【審議結果】

- 承認

#### (3) その他

- ・大阪府がん対策推進計画 最終評価及び改定のスケジュールについて
- 意見等なし。